

2012.

1/15
vol.153

まいばら

ひととまちをつなぐ市政情報誌



主な内容

尾木ママと泉市長の新春「絆」トーク	2
状況報告 保・幼・小中学校の統合整備	8
観音坂トンネルの工事が始まります	11

次回の広報まいばら発行日 2月1日号 1月26日(木)

「絆」トーク



Naoki Ogi

教育評論家 尾木 直樹 先生



Minekazu Izumi

米原市長 泉 峰一

教えて尾木先生！

「まいばらふるさと大使」としてご活躍いただいている「尾木ママ」こと教育評論家の尾木直樹先生に、市民のみなさんからの質問にお答えいただきました。

子育てを通じた地域の元気づくり・絆づくりについての泉市長とのトークを、伊吹山テレビ新春特番のダイジェストでお届けします。

今みたいな良いスキーではなく、竹を割ってチューブみたいなものをつけて長靴で滑っていたんですが、これでも快感だったんです。そして、夏になると川やため池へ魚釣りに行ったり、山へアケビ採りに行ったりと、とにかく自然が遊び場でした。今みたいにゲームとかはなかったけど、棒切れとボールがあれば友だちと遊べたの。何だっ



僕が小学生の頃は50年以上前の大昔のことですが、

僕はホッケーを頑張っています。尾木先生が子どものときに熱中したことや、子どもの頃の将来の夢を教えてください。



教えて尾木先生！

高木 勇弥 さん
春照ホッケースポーツ少年団



ね。そういうものが地域にあるって素晴らしいことですね。

米原市は国体が開催されて以来、ホッケーが根付いて全国大会で優勝もされていますが、市としても応援したいですね。



子どもが夢に向かう姿は、大人も元気をもらいますね。私は中学校でバレーボール部に入りましたが、勝った時の感動や負けた時の悔しさを、辛抱して練習しようという気持ちは、やっぱり大人になってもちゃんと生きてくると

思っています。しかったのよ。じゃあ夢はなんだったかって言うと、やっぱりスキーが得意だったし、小学校の高学年とか特に中学生になった段階では、スキーの選手になりたいっていう夢がありましたね。それから、本を読んだりするのが結構好きだったし、国語が得意だったんですよ。だから児童文学者になろうっていう夢も持っていましたね。夏休みの自主的な作文とか宿題では、詩集とかを自分で作っていましたよ。

子育てに積極的なお父さんが「イクメン」としてブームですが、尾木先生はイクメンでしたか？

教えて尾木先生！

北澤 あさこさん
劇団「プラネットカンパニー」



もうね、質問そのものは元祖イクメンよ。2人の子どもを育てたんですけれども、特に上の子なんかは、授乳からおしめ替えから保育園の送り迎えまで、ほとんど僕がやりました。なぜかと言うと、うちの女房も働いていて、職場が遠くて、僕の方が近かったんですよ。

料理もはつきり言って僕の方が多かったの。学生時代に自炊生活をやったからレパートリーも多かったし、苦でもなかったの。みんなが喜んでくれてうれしかったんですよ。

ただね、僕も子育てをやったからすごくわかるんですけど、お母さん方は本当に色んなストレスを抱えていますね。やっぱり一人でやっている、ちょっとしたことがものすごく不安になるの。泣きやんでくれなかったりとか、ミルクをなかなか飲んでくれなかったりするでしょ、そしたら「何か悪いのかなー」と思ったり、色んな不安ばかりよぎってくるわけ。

そういうときに大事だと思ったのは、保育園の先生だとか子どもが同じクラスのお母さんとかに、「どうしたんだろう」とって相談できる仲間がいるっていう子育て環境。僕らのころはそれに支えられてきたけど、今それが切れちゃってる社会の中では、これは辛いだろうなって思いますよね。

だから、イクメンっていう意識改革が重要なのは大前提ですが、やっぱり支えてくれる地域とか、行政のちょっとしたバックアップがすごく欲しいなって気がします。



今でいうイクメンかどうかはわかりませんが、私は夜中に子どもが泣きやまないとき

はあやしたりしてましたね。少し大きくなると妻に叱られてシウンとしているのをなだめにいくとか。やっぱりちょっと逃げ道を作ってあげることは大事だと思います。両親二人一緒になって叱っていたのでは、ちょっとかわいそうな感じがしますの、私はなだめ役でしたね。



そういう風に、お父さんがパイパス役をやるとすごくいいんですよ。

それから、尾木先生が子育てで失敗したなって思うことはありますか？

教えて尾木先生！

川北 勝平さん
3人の子育てに奮闘中



というのも、うちの子はあまりテレビを見ないし、チョコレートも食べないから、「うちの子は立派だな」と思ってたの。だって、僕は絶対に押し付けてませんから。



押し付けじゃなく、子どもから「やりたい」と言わせたいところが、今の若いお父さんは素敵ですね。

これはね、結構簡単ですよ。例えばお父さんが地域のチームを作るのを手助けするとか、コーチをやるとか、お父さんが関わってイキイキとしていれば、「お父さんが楽しそうにやってるから僕もやりたい」となってくるわけ。

だから、子どもだけにやらせておいて自分は仕事に専念するっていうのは、これはちょっと甘いかな。お父さんも一緒に楽しんで、チームのために貢献したり、地域づくりに大事な役割を果たしているっていう、そこを抜きにしたらダメよ。

それから、「失敗した」なんて、あんまり言いたくないけど、やっぱり子育てでパーフェクトはないです。僕なんか自分で採点すれば、60点か61点のギリギリの合格ラインだと思います。

そうしたら、子どもが大学生のとき、徹夜でテレビを見ながら大きな袋のチョコレートを全部食べていたんです。びっくりして「どうしたの」って聞いたら、「だってテレビ嫌いと、か、チョコレート嫌いとかが言うつと、お父さんもお母さんもうれしそうな顔してた」って言うんですよ。「いくら言葉で『いいんだよ』って言うつていても、なんか目がうれしそうだった」つて。

これはきつかったですよ。こういうのを「イイ子症候群」つて言つて、親が喜ぶように演じてきますから気をつけた方がいいですよ。やつぱり親も、「1時間くらいならテレビ見たつていいじゃない」と、本気で思つていないと子どもに見抜かれま

す。 こういうことを、僕は教育評論家として専門家だから、講演で話したり本に書いたり、理論的にもそうだとわかつているのに、自分が失敗してるわけですよ。本当にポロポロ泣きましたもん。

だからね、親が子どもに押し付けないというさつきのお父さんの考えは大賛成。だけど、本気で心で思つていうことがとても大事ですね。



先生が言われたように、押し付けがダメだということと、親が楽しくやつていることは見習おうとするということは、共感できますね。

私も米づくりをしていましたが、自分が楽しくやつているんだから子どもも連れていつて積極的にその姿を見せるべきじゃなかったかなと、今になって思います。みんながそうしていれば農業離れも起きないかもしれませんね。

昔の親は自分の背中を見せ、そして子どもは親の背中をみて成長してきましたが、現代は親の育て方が変わってきたように思います。

こういった中、地域で育てるうえで、もっとも大切なことはどんなことでしょうか。

教えて尾木先生!

森 鈴子 さん
「どろんこ農園」で子育て支援



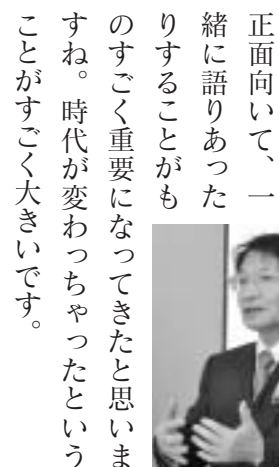
森さんがおっしゃったように子どもは親の背中を見て育つていったんですけれど、なぜ昔はそれができたのかつて言うつと、70年代くらいまでは農業中心で生活していて大家族で住んでいたし、みんな地域があつたわけですよ。親はもちろん、おじいちゃん・おばあちゃんもいるし、ご近所のおじいちゃん・おばあちゃんも、みんなつながつてるわけですよ。

そんな中でいろんな大人の正面や背中を見て、大人つてものがわかつてきたし、いろんなモラルも伝わつてくるわけですよ。だから、お父さんは一生懸命仕事して背中を見せていれば安心だったんです。

ところが、今はそれがなくなつて、閉鎖されたひとつのマンションの部屋の中に各家庭が分断されてきたでしょ。そういう中では、お父さんの背中を見ていただけではだめになつてきて、正面向き合わなくてはいけない。

しかも、今はマスクミヤインターネットが発達して、様々な情報がありアルタイムで入ってくるから、お父さんの背中を見せているだけでは、吹き飛んでいくような時代なんです。

だから、横並びで、ときには正面向いて、一緒に語りあつたりすることがものすごく重要になつてきたと思いま



すね。時代が変わつちやつたということがすごく大きいです。それに、大人同士もつながりあつていけない中で、社会全体の安心・安全も崩壊して、勝手に子どもを外に遊ばしておくわけにはいかない。だから、わかつていてもできないところもあつて、二重三重に、親にとつては厳しい環境ですよ。



尾木先生の話で、今は難しい時代になつてきたということですが、幸いにも米原市ではまだ地域の絆は薄れていないと思つています。高齢者のみなさんが、自分の孫ではないけれども一緒に子育てに参加されている光景も、地域にありますね。

こういった面をもつと広げていけるといいと思つています。



そうですね。米原市の特徴ですね。良さですね。



東日本大震災で「釜石市の奇跡」と言われている学校があるんです。震災が発生したとき、生徒は学校ではなく地域にいたのに、後で点呼してみたら、全員無事だったんですよ。釜石っていうのは壊滅的な打撃を受けたところなのに。

しかも、子どもたちは自分の命を守っただけじゃなくて、弟の命を守ったりおばあちゃんを助けたり、とにかくそれぞれところで初対面の人同士もみんな絆を結びあつてたっていうんですよ。絆がどんな場面でも大事なんだということをお今回の震災を通して学びました。

国際的に言ってもね、例えばクリントン夫人が書かれた本が「村が子どもを育てる」というタイトルなんです。地域社会の絆なんですよ。どこの民族やどこの国でも、決して一人で子育てはできないんです。人間って言うのは基本的に社会的な動物ですから、そこでみんなが絆を張りめぐらしているということがすごく重要だって思いますね。

だから、地域に高齢者が多いって言うことは一見困難なことが多いよーうに見えるかもわかりませんが、今の若いお母さん方の子育てにアド

バイスしたりサポートしていくことで、高齢者自身が精神的に健康になつていたり、「私もボケてもいられないよ」と生き生きされてきたら、それは地域の活性化につながっていくのではないのでしょうか。予防医学的にも効果的で医療費は節約できる

し、ほんとにみんなが幸せな気分になれますよ。ね。

こういうことから考えると、やっぱり2012年にふさわしい地域づくりっていうのは、

子育てを中心にして何ができるかって考えると、無数に広がってくるよーうな気がしますね。

それも行政の指示を待つのではない、米原市民一人ひとりが「私はこんなことができ

る」「私はこんな動きをしよう」と、

どんどん提案したり思いつくことで動いていくっていうのが現代的な市民の生き方だろうと思うんですよ。そして、それに後から行政が「こん

地域づくりは子育てを中心に 考えると無数に広がる！ 市民の提案や行動で エネルギッシュな米原市に！

なバックアップができますよ」って応援していくみたいな。こうなつたとき、本当に活力のあるエネルギッシュな米原市になるんじゃないかと期待したいですね。



米原市では、子育て・高齢

者対策・福祉などすべての中の基本は絆にあるということ、今まで取り組んできましたけど、特に防災の面を強化しながら本年も地域の絆づくりを重点的に進めたいと思っています。

そして、子育ての点では、高齢者が子育てに関わる機会をもっと増やして、まち全体に広がってきたいと思っています。また、未就園児を持つお母さんの情報交換の場となる子育て支援センター

をさらに充実していきたいと考えています。

こういったことを通じてお互いが交流し合うことで、高齢者も元氣をもらえるし、小さい子どもたちも自宅におじいさん・おばあさんがおら

れなくても、良い関係や絆が育まれると期待します。このような思いで、本年も取り組んでいきたいと思っています。



尾木ママ オフィシャルブログ「オギ☆ブロ」 <http://ameblo.jp/oginaoki/>

尾木ママが
ふるさと米原に
やってくる！

講演会情報は次ページで



尾木ママ講演会

「人権尊重と部落解放を
めざす市民のつどい」
「認めあう女と男との
パートナーフォーラム」

3月3日(土)
米原公民館
9時45分～12時15分

参加無料
託児あり

定員550人
入場整理券が必要です



教育評論家の尾木直樹さんを講師にお迎えし、人権の視点、そして男女共同参画の視点から語っていただきます。
尾木ママと一緒に、お互いの人権が尊重された明るいまちづくりについて考えていきましょう。

日時

3月3日(土)
9時45分～12時15分

会場

米原公民館 大ホール

内容

第1部

記念講演

「尾木ママが語る
『子どもの人権』」

第2部

男女共同参画の視点で
市長と語り合う
「尾木ママの子育て論」

入場整理券の申込方法

入場整理券をご希望の方は、ハガキかファックス・メールに、次の事項をご記入のうえ、人権政策課までお申し込みください。

・郵便番号・住所・氏名
・希望人数(2人まで)

・申込書1枚につき2人まで入場できます。(1人1枚の申込に限らせていただきます)

・車イスをご利用の場合は、「車イス利用」と記入してください。

* 託児を希望される場合は、利用人数を記入してください。

* 手話通訳または要約筆記を希望される場合は、その旨記入してください。

募集定員と抽選

募集定員は550人です。応募者多数の場合は、抽選を行いますのであらかじめご了承ください。

また、大ホールへ入場できるのは470人で、80人の方は2階会議室でのモニター視聴になります。(抽選で決定)

抽選結果については、ご応募いただいたみなさんに2月下旬に通知します。

申込締切と申込先

2月20日(月) 必着
〒521-8501

米原市下多良三丁目3番地
米原市役所 人権政策課

☎ 521-4539
✉ jinsui@city.maibara.lg.jp

お問い合わせ

総務部 人権政策課(米原庁舎)
☎ 521-6629 ☎ 521-4539

近江公民館の鹿取宏美さんが、「米原」と「まい(わたくしのmy)バラ」をかけて制作されたこのブローチ。質感や色彩がとても素敵なブローチですが、実は新聞紙面のカラー版を利用したエコ作品なんだそうです。

「ふるさと米原をPRしてね」と、尾木ママにプレゼントしたところ、さっそく情報番組に出演されたときに胸元に飾っていただきました。そして、こういったことをきっかけにバラをテーマにまいばらを活性化させようという盛り上がりもできています。小さなつぼみから素敵な花がたくさん咲きますように！



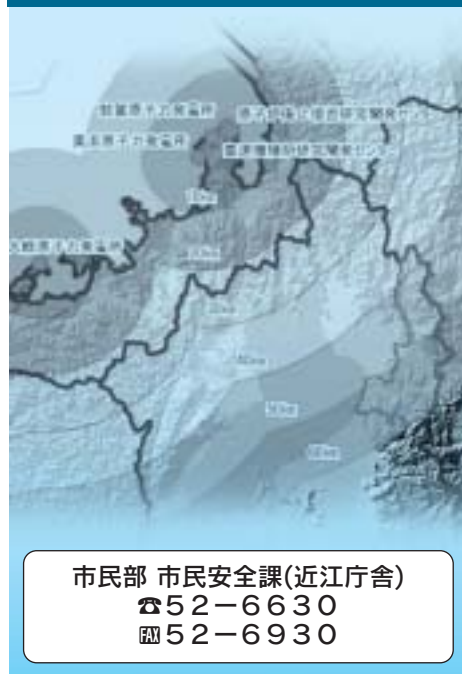
このブローチは近江公民館と醒井水の宿駅で1個300円で販売。収益を市の生涯学習の事業に充当されています。

TOPIC 尾木ママの胸元を飾った「まいバラ」ブローチ

今だからこそ
みんなで考えたい…

地域防災計画 の見直しに向けて

vol.2



市民部 市民安全課(近江庁舎)
☎52-6630
☎52-6930



地域防災計画策定検討チーム 初会議を開催

災害に強い安心で安全なまちづくりを進めること、また、想定される災害に対して迅速で適切な対策がとれる地域防災計画を作成することを目的に、庁内の地域防災計画策定検討チームの初会議を12月12日に近江庁舎で開催しました。

この検討チームは、関係課の職員27人で構成。リーダーを市民安全課長が担い、メンバーは各部署の業務内容に応じた細やかな目線と、横断的な連携による広い視点の両面から、現在の計画を見直していきます。

まず、今回の初会議では、米原市が柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯と鈴鹿西縁断層帯に挟まれるように位置してい

ることや、市内の土砂災害警戒区域が約200か所を数えることなど、市の地勢状況を改めて確認。

そして、東日本大震災や台風12号など最近発生した大規模災害を振り返り、被害の状況や特徴から学ぶべきことを確認し合い、市の計画を見直すうえでの背景や検討項目をメンバーで共通認識しました。

さらに、原子力防災についても、国県の最新動向やこれまでの市の対応を確認しながら、新たに原子力防災対策に取り組んでいくことの必要性について認識を深めました。

基本方針をもとに 今後5つのグループで議論

地域防災計画を見直すにあたって、市では見直しの基本方針を次のように定めました。

地域防災計画見直しの基本方針

- ① 水害・土砂災害への対応を見据えた避難計画の課題洗い出しと対策の強化
- ② 大規模地震への対応を見据えた現行の地域防災計画の課題洗い出しと対策の強化
- ③ 原子力災害への対応を見据えた原子力災害対策計画の新規策定

検討チームでは、この基本方針をもとに、「災害時要援護者」「避難所」「初動体制」「応急対策」「原子力防災」の5つの項目についてグループに分かれて、具体的な議論・検討を進めていくこととしました。

初会議の締めくくりにあたって、リーダーは「検討するべきことは多々あるが、市民のみなさんに不安を与えない体制をつくり、優先的に取り組むべきことを判断しながら今後の見直しを進めていきたい」と述べました。第2回の検討チームの開催は1月13日(金)の予定です。

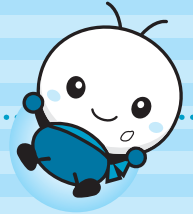
地域防災計画 ワンポイント

地域防災計画は、災害対策基本法第42条に基づいて、各地方自治体の長が「防災会議」にはかって定めることになっています。この「防災会議」は、県や消防、警察をはじめ市内公共機関などで構成されます。

今後の予定として、市では、2月10日(金)に防災会議を開催する予定です。

状況報告

保育園・幼稚園 小学校・中学校の 統合整備



少子化によって児童・生徒数の減少が見込まれている中、子どもたちが変化の激しい社会をたくましく生きていくための「生きる力」を育てるため、市では「保幼小中学校統合整備計画」を昨年の3月に策定しました。そして、子どもたちにとって望ましい保育・教育の環境整備について、順次取り組みを進めています。

今回は、この計画の中で短期的に取り組むこととして位置づけた統合等の状況や、その後の施設活用などについて、みなさんにご報告します。

山東小学校 (平成23年4月に新設)



山東西小学校と山東東小学校を統合し、山東西小学校の校舎を活用して、新設校としてスタート。児童たちは、地域とともに育んできた伝統や文化を受け継ぎながら、ホタルのすむ川など豊かな自然に囲まれて、いきいきと学校生活を送っています。

山東東小学校の 校舎の活用について

山東東小学校の校舎については、自治会・地域のまちづくり団体・市の3者で、施設の有効活用について協議を重ねてきました。その結果、地域住民の交流・高齢者福祉サービスなどの拠点施設とするために、地元の民間医療法人（医療法人緑泉会 水野医院）に建物・土地などの財産を貸し付けて、次のようなサービスを提供する福祉施設として活用されることになりました。

- サービス付き高齢者住宅
- グループホーム



▲今後は地域の福祉の拠点としての活用が期待される山東東小学校の校舎

- 高齢者サロン
- ボクシング・フィットネスジム

なお、国の天然記念物に指定されている長岡ゲンジボタルについての貴重な資料が保管されている資料館は、「ほたる館」として引き続いて大切に管理運営されていきます。また、体育館やグラウンドについては防災避難場所として指定されているため、今後もその役割を継承しながら、地域住民の憩いの場として提供されていきます。

東草野小学校 (平成24年4月から休校)

東草野小学校では来年度の在籍児童が1人になり、今後も児童数の増加が見込めず極少人数で推移するため、保護者懇談会や地域懇談会で検討を重ねた結果、今年の春から休校することに決定しました。

今後、児童は伊吹小学校に通学します。



東草野中学校 (平成27年3月まで継続)

東草野中学校についても生徒数が極少人数で推移するため、東草野小学校とあわせて保護者懇談会や地域懇談会で検討を重ねてきました。その結果、今年の4月以降に入学する生徒が卒業する平成26年度まで継続し、それまでの間にあり方を判断することにしました。

米原西保育園・米原中保育園 (平成24年4月に統合)

米原西保育園は在籍率が20%以下と極めて低く、集団保育の効果も期待できないことから、今年の3月で廃園し、米原中保育園に統合します。

息郷小学校・醒井小学校 (平成25年4月に統合)

息郷小学校は児童数が100人に満たない状況が続いて複式学級になる可能性があり、醒井小学校でも児童数が減少している状況から、25年の春に両校を統合します。統合後は醒井小学校の校舎を使用して、新たな学校としてスタートします。

息郷保育園・醒井幼稚園 (平成26年4月に統合)

両園とも在籍率が低いほか、施設の老朽化も進んでいるため、平成26年の春に統合し、「認定こども園」としてスタートします。園舎は息郷小学校の校舎を改修して使用します。

近江にし保育園 近江ひがし保育園 ふたば幼稚園 (平成26年4月に統合)

新興住宅地が多い近江地域に位置するこの3園については、延長保育や一時預かりなど、多様な保育ニーズがあることから、現在の施設では対応が困難な状況です。

このため、平成26年の春に3園を統合し、「認定こども園」として新たにスタートします。

統合にあたっては、0歳児から2歳児までの「乳児部」と3歳児から5歳児までの「幼児部」に分けて施設の整備を行います。乳児部は、近江にし保育園の園舎を改修して活用し、幼児部は双葉中学校の付近に新築する予定です。



▲認定こども園に統合後、「乳児部」の園舎として活用予定の近江にし保育園。

柏原中学校・大東中学校 (平成27年4月に統合)

柏原中学校の生徒数は平成23年度以降100人を越えることがなく、各学年1クラスの状況が続きます。生徒の諸活動に様々な課題を抱えていることから、平成27年の4月に大東中学校と統合する予定です。

このように、市では、子どもたちがお互いに切磋琢磨しながら育ちあう環境を整えるために、既存施設を有効利用することを考慮しながら、保育・教育環境づくりに取り組んでいます。

今後の進展についても、「広報まいばら」や「伊吹山テレビ」などで随時お知らせしつつ、保護者のみなさんや地域のみなさんご意見を伺う機会を設けながら進めていきます。ご理解とご協力をお願いします。



お問い合わせ先

市教委 教育総務課(山東庁舎)
☎55-8107 ㊟55-4040
こども元氣局(山東庁舎)
☎55-8104 ㊟55-4040

教育委員会からのおしらせ

来年度から
夏休みを
短縮します



市内の小中学校では、来年度から夏休みなどの長期休業期間に授業を実施していきます。これは新教育課程実施にともなう授業時間数の増加に対応しつつ、各校の特色ある取り組みを大切にしながら、より充実した教育を行うためのものです。

平成24年度は、8月29日(水)から31日(金)の3日間の予定で実施し、いずれの日も授業は午前中で終わります。(給食は9月3日から始まります)

2学期が少し早く始まることになりましたが、子どもたちの教育を充実させるための取り組みですので、ご理解とご協力をお願いします。

お問い合わせ先

市教委 学校教育課(山東庁舎)
☎55-8109 ㊟55-4040

連続シリーズ 国保のおはなし

国保運営協議会から国民健康保険税の改定について答申

国保運営協議会での審議

市では、国民健康保険の運営に関して重要な事項を審議いただくために、法律に基づいて国民健康保険運営協議会を設置しています。

協議会では、市長から諮問された内容について審議を行い、今後の収支見通しや、医療費抑制事業、特定健診と健康づくり事業、収納率向上への取り組みなどについて検討されてきました。

各委員からは、米原市の国民健康保険財政が厳しい状況に置かれ続けていること、これまで赤字を補ってきた国保会計の貯金（財政調整基金）も残高が減少し続けていることなどを踏まえて、保険税率引き上げや、一般会計からの赤字補てんなどを求める意見が出されました。

保険税改定について答申

そして12月27日、これまでの協議会での意見を集約し、会長・副会長

から市長に答申が行われました。

答申では、これまでの答申内容（資産割の廃止、収支均衡を図るための段階的な税率改定）を踏まえ、平成24年度から資産割を廃止することと併せて、一定程度の税率改定を認めるほか、収納率向上への取り組み、医療費抑制事業の充実、財政の健全化への取り組みを継続することなどが提言されました。

この答申を受け、市では保険税率の改正案を3月定例議会に提出する予定です。



12月27日 米原庁舎にて

国保財政の健全化には日頃の健康づくりが大切です。

市の国民健康保険の医療費は毎年増加しています。1人あたりでは平成20年度289,446円、446円が平成22年度には306,719円に増加しています。滋賀県内の平均よりも高く、県下で2～3位の高い水準で推移しています。一方、1人当たりの保険税額は県内の平均よりも低い状況となっています。

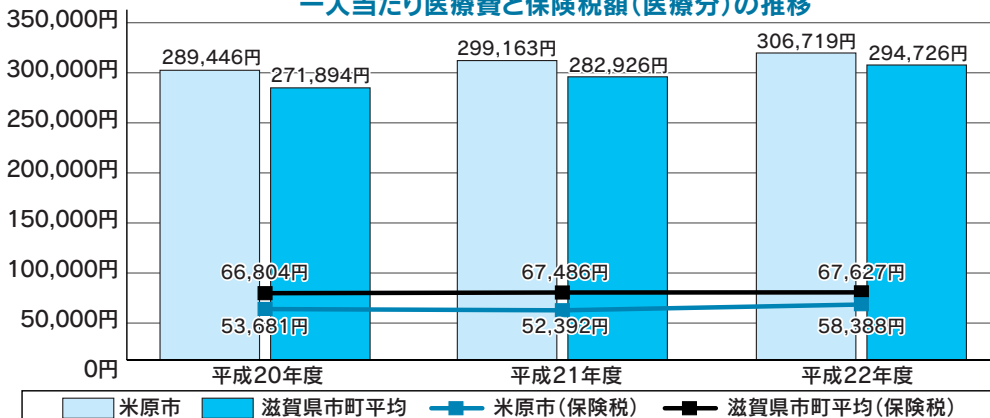
支出の中心である医療費が増加していることもあり、平成20年度以降、毎年収支不足が生じるなど厳しい運営が続いています。

国保財政の健全化を目指すには、被保険者のみなさんの健康づくりが何よりも大切です。国保では、特定健康診査・特定保健指導を実施しているほか、人間ドックの費用助成等を行っています。これらの制度を活用することは病気の早期発見、早期治療により重症化の予防につながり



ます。被保険者みなさんの健康づくりへの意識が、国保財政の健全化にもつながります。日頃からの健康管理を心掛けましょう。

一人当たり医療費と保険税額(医療分)の推移

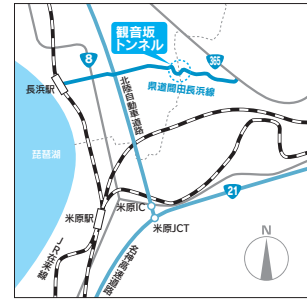


お問い合わせ 市民部 保険課(近江庁舎) ☎52-6922 ☎52-8730



ご協力をお願いします。
工事期間中も現在のトンネルを通れるよ。

県道間田長浜線 観音坂トンネルの 工事が始まります



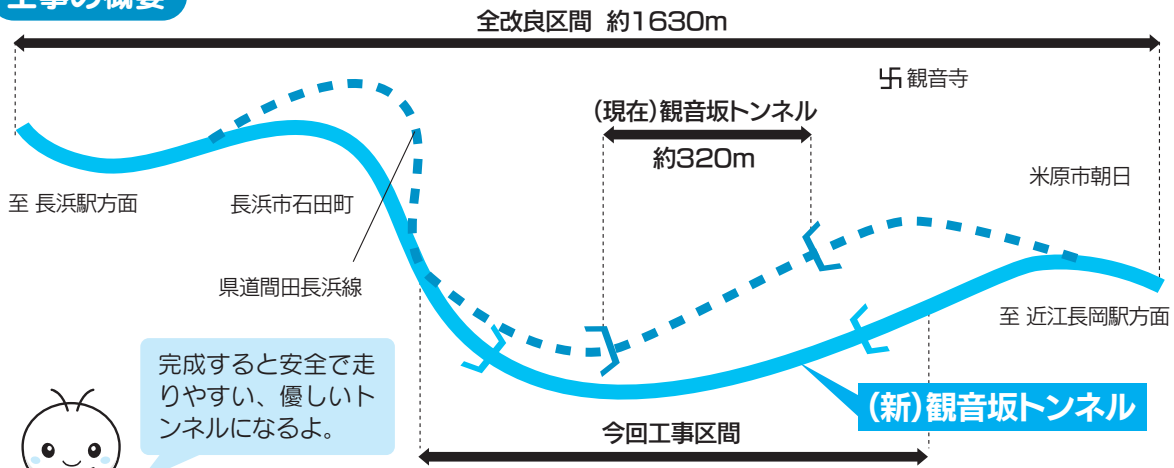
米原市と長浜市を結ぶ県道間田長浜線の市境にある観音坂トンネルは、昭和8年に開通しました。以来老朽化が進み、幅員も狭いため、通学・通勤者をはじめとする道路利用者のみならずにとつては非常に危険で、地域からは一日も早い整備が求められていました。

このたび、長年の要望が実を結び、平成24年1月から工事に着手することになりました。

トンネルは現在の南側に新しくつくられ、長浜市側から掘り進められます。トンネルを含めた全区間の工事は、平成27年度末(平成28年春)に完成の予定です。

なお、工事中も現在のトンネルを通行することができま。工事現場付近では、工事車両が通行しますが、みなさんのご理解とご協力をお願いします。

工事の概要



完成すると安全で走りやすい、優しいトンネルになるよ。

道路の縦断勾配が緩くなり、自転車通学する高校生の負担を軽減します。

歩行者・自転車と自動車が分離されて、安全に通行できます。

発注者 滋賀県長浜土木事務所 ☎65-6641

お問い合わせ 土木部 建設課(近江庁舎) ☎52-6925 ☎52-8790

社会福祉課からのお知らせ

「第2期米原市障がい者計画(案)」および
「第3期米原市障がい福祉計画(案)」に対する

市民意見

(パブリックコメント)を募集

計画策定の背景・趣旨

平成23年度末に「第1期障がい者計画」および「第2期障がい福祉計画」が、目標年度を迎えて終了することから、これらの計画を同時に見直します。

障がいのある人の現状やニーズの把握、サービスの現状や事業者の状況を把握しながら、「第2期障がい者計画」および「第3期障がい福祉計画」を策定し、今後の障がい福祉サービスに関する施策の柱としていきます。

「障がい者計画」とは

障害者基本法に基づいた計画で、障がいのある人に関する施策を総合的に定める基本的な計画です。

第2期計画の期間は、平成24年度から平成29年度の6年間です。

「障がい福祉計画」とは

障害者自立支援法に基づく計画で、サービス等の見込み量や確保策を具体的に定める計画です。障がい者計画の生活支援や就労支援分野の実施計画ともいえます。

第3期計画の期間は、平成24年度から平成26年度の3年間です。

計画の理念

障がいのある人もない人も、地域で助け合いながら共に暮らせるまち米原の目指す「ノーマライゼーション」を基本理念とし、すべての障がいのある人の自立と社会参加の実現を目標とします。

計画の重点的な取り組み

・多様な障がいの特性に応じた働く場、日中活動の場の確保

・重度障がい者への支援の充実
・知的・精神障がい者への地域移行促進のための資源の整備
・障がい者に適した支援情報のファイル化による、生涯を通じ一貫した相談支援の充実

閲覧方法と市民意見の提出方法

意見の募集期間

1月20日(金)～2月20日(月)

案の閲覧場所

市役所各庁舎・行政サービスセンター・市立図書館の市政情報プラザ、市公式ウェブサイト

意見の提出方法

閲覧場所で直接提出、または郵送・ファックス・Eメールで左記まで



お問い合わせ・意見の提出

健康福祉部社会福祉課(山東庁舎)
〒521-0202 米原市長岡12006
☎551-8102 図551-8130
✉syakafukushi@city.maibara.lg.jp

市民安全課からのお知らせ

「暴力団排除条例」を制定しました

平成24年1月1日施行

基本理念

- 暴力団を利用しない
- 暴力団に協力しない
- 暴力団と交際しない

暴力団は、薬物密売による資金調達や暴力による民事介入に加え、企業活動をよそおった資金獲得活動などを活発化させています。

こうした活動に対し、警察の取り締まりに加えて、市民・事業者・行政が連携して、社会全体で暴力団を孤立させていくことが重要です。

平穏な市民生活と社会経済の健全な発展のためにも、協力し合って暴力団を排除していきましょう。

暴力団だつて困ったときは…

滋賀県暴力団追放推進センター
☎077-5255-8930
米原警察署
☎52-0110

お問い合わせ

市民部 市民安全課(近江庁舎)
☎52-6630 図52-6630

環境保全課からのお知らせ



堆肥「ゆめいぶき」

予約を開始します

堆肥を利用した安全でおいしい農作物を育て「地産地消」を目指そう！

予約受付開始日

2月1日(水)

(受付時間：8時30分～17時15分)

※予定数量に達した時点で締切ります。

堆肥受取期間

3月6日(火)～3月19日(月)

※期日を過ぎても受け取りに来られない場合はキャンセル扱いとなります。

販売する堆肥

3種類の堆肥を販売します。成分や原料を参考に予約してください。

なお、今回は生産量が少ないため、次のとおり購入量を制限します。

1世帯あたり袋詰50袋・フレキシブルコンテナ3袋まで

予約方法

予約受付期間内に、環境保全課に電話(☎058-2233030)、または環境保全課窓口で直接お申し出ください。

*予約はこの電話番号からのみ受け付けます。FAX予約不可。



「フレキシブルコンテナ」直径1.3m 高さ1.2mの袋で、底のロープを解くと全開し堆肥が出ます。

堆肥の種類と成分など

堆肥の種類	窒素 (%)	りん酸 (%)	加里 (%)	原料	販売量 (予定)	価格
ゆめいぶき1号	3.0	2.7	3.0	生ごみ、牛糞、米糠 もみ殻、刈草剪定枝	28.0t	【袋詰】 (7kg入り) 1袋 200円
ゆめいぶき2号	3.9	3.4	1.9	農業集落排水汚泥 もみ殻、米糠、刈草剪定枝	13.0t	【バラ売り】 (フレキシブルコンテナ約250kg入り) 10kgあたり 100円
ゆめいぶき3号	3.2	2.5	2.5	牛糞、もみ殻 米糠、刈草剪定枝	3.0t	※ゆめいぶき3号はバラ売りのみ販売

受取場所

袋詰(ゆめいぶき1号・2号)7kg入)が10袋までの方は、ご希望の庁舎でお受け取りいただけます。

その他は、コンポストーション息吹でのお受け取りとなります。

受取時間

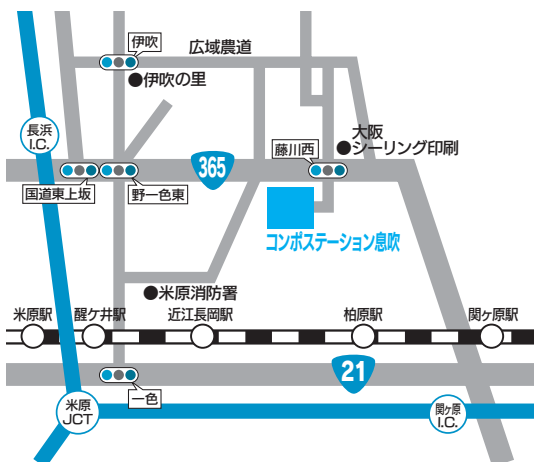
【各庁舎窓口】

平日(土曜・日曜・祝日等を除く)
8時30分～17時15分

【コンポストーション息吹】

平日(土曜・日曜・祝日等を除く)
9時～16時

お問い合わせ・お申し込み
経済環境部 環境保全課(伊吹庁舎)
☎58-2233030 図 ☎58-1163030



健康きらい

発酵食品と野菜で

脱メタボ

長岡 稲垣 輝隆さん(69歳)

健康づくりに積極的に取り組んでいる人を紹介します。

私は、約50年の間タバコを毎日20数本吸い続けていたのですが、何度も失敗しながらも挑戦を繰り返し、3年前によく、禁煙に成功することができました。

しかし、食べ物に関しては、「フンシユガーだから大丈夫」とガムやキャンディを食べたり、食事もついつい食べ過ぎたり、間食をしたりと制限をしなかったため、いつの間にか体重が93kgに跳ね上がっていました。市の健診でも肥満と高脂血症があり、このままでは確実に生活習慣病になると指摘され、保健指導を受けました。

「注意しなければ」と思い、妻の協力も得て、極力カロリーのない食べ物に切り替え、便秘しないように発酵食品と野菜中心の食生活になるよう気をつけました。

それから1年、体重と腹囲も徐々に下降線をたどっています。現在は、好きなゴルフと散歩をして、ストレスと脂肪をためないように、自分自身でしっかり自覚しています。そして、あと5kgの体重を減らすことと、5cm腹囲が減少することを目指し、リバウンドしないように、頑張り過ぎないで取り組みを続けています。

平成22年10月の健診結果

身長 179.1cm 体重 87.8kg
 腹囲 94.7cm
 血圧 151/88mmHg
 HbA1c 5.2%
 LDLコレステロール 141mg/dl
 尿酸 7.9mg/dl

生活改善を決意!!

平成23年8月の健診結果

身長 178.9cm 体重 82.9kg(-4.9kg)
 腹囲 90.1cm(-4.6cm)
 血圧 135/77mmHg
 HbA1c 5.1%
 LDLコレステロール 98mg/dl
 尿酸 6.9mg/dl

(注) HbA1c…過去2~3か月間の血糖の状態をみる指標です。基準値は5.2%未満です。

<担当保健師よりひとこと>

料理上手な稲垣さん。奥さんと一緒に取り組まれた成果が見事に健診結果に表れました。今後の取り組みも応援しています。

お問い合わせ 健康福祉部 健康づくり課 (山東庁舎) ☎55-8105 ㊟55-2406

地域包括支援センターがらみ



全9回

認知症に強い脳をつくらう

みなさんは、認知症予防ときいたらどのようなことを思い浮かべますか？

今回ご紹介する「認知症予防プログラム」は、認知症予防のために、効果的に脳を鍛える一つの方法として、米原市がすすめているものです。

具体的には、ウォーキングなどの「有酸素運動」と、旅行、料理、パソコンなどの趣味活動を通じて脳を刺激する「知的活動」を日常生活の中に取り入れた活動です。

認知症の中で最も多い、脳の神経細胞が少しずつ傷んでおこってくるアルツハイマー型認知症は、長い年月をかけて進行していきますが、脳を刺激することで脳の神経細胞のつながりが強化され認知症に対する予備力が蓄えられます。

認知症予防は長く続けることが必要となってくるので、一人では続けることが難しいことでも、仲間と一緒に続けられます。米原市では、実際に8グループがこのプログラムに取り組まれていて、6年以上継続しているグループがあります。

※写真は、米原市内のグループ「てくてく」のみなさんです。NPO法人認知症予防サポートセンター(東京都世田谷区)より、2月に開催される「地域で続ける認知症予防全国活動グループ交流会」のために「継続の秘訣」について取材を受けているところです。



「認知症予防プログラム」の内容について知りたい方は、福祉支援局までご連絡ください。

5~6人から
 取り組みますよ



お問い合わせ 健康福祉部 福祉支援局 (山東庁舎) ☎55-8110 ㊟55-8130



おしりの引き締め体!

若く美しく変化しよう

おしりを引き締め体! その2(全3回)

今回もおしりを引き締めます! おしりを引き締めると腰が高く見えますので、姿勢を保ち見た目も美しくなりますよ。また、今回のトレーニングは股関節の筋肉を柔らかくする効果もあり、歩行の姿も美しくなります。

簡単なので、ぜひ挑戦してください!

『バイク乗り』トレーニング

動かす側のヒザを大きく回すことを意識してやってみましょう!

【トレーニングの方法】

- ①伸ばした両手を壁などに当て、体を安定させる。
- ②片足を後ろへ大きく伸ばす。
- ③その足を体の外側へ大きく広げながら前に動かしてください(バイクにまたがるように)
※体の前に来たときのヒザは腰の高さぐらい。
- ④1日に1セット10回×両足を目安におこなう。



【ポイント】

- 写真のような外回りだけでなく、内回りもやってみましょう
- 足首にウエイトをつけるとより効果的!

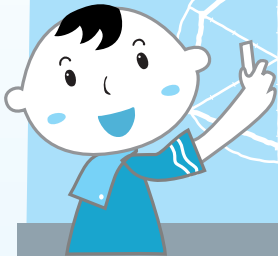
ご案内

「引き締め体」をやってみたい方・やっている方へ
広報まいばら、伊吹山テレビでモデルに挑戦してみませんか。ご応募は広報秘書課(☎52-6627)まで

お問い合わせ

スポーツ振興室(ルッチプラザ内)
☎55-8020 ☎55-4556

まいばらんす 給食レシピ



バランスのとれた食生活を送れていますか? 給食の献立を参考に、ご家庭での食事を見直してみてください。

12月13日(火)の給食



給食では、子どもたちにふるさとのお文化を受け継いでもらいたいという思いから、「ふるさと滋養給食」として滋賀県の郷土料理や特産品を味わう献立を取り入れています。今回の「かしのじゅんじゅん」は、昔はお正月やお祭りのごちそうとして食べられていました。「じゅんじゅん」とは、湖北地方に伝わるすき焼きのことで、食材を煮込む音が「じゅんじゅん」と聞こえたことに由来します。



お試しメニュー



かしのじゅんじゅん

材料(4人分)

とり肉	100g	しらたき	80g
たまねぎ	160g	生しいたけ	12g
にんじん	60g	ねぎ	30g
はくさい	100g	水	80ml
ささがきごぼう	40g	三温糖	小さじ4
焼き豆腐	120g	しょうゆ	大さじ2
丁子麩	10g	料理酒	小さじ2

作り方

- ① たまねぎはくし型切り。にんじんはいちょう切り。はくさい、ねぎは2cm幅に切る。豆腐は角切り。生しいたけは1/4に切る。
ごぼうはささがきにして水にさらしておく。
- ② とり肉は一口大のサイズに切る。
- ③ 丁子麩は水に戻し、水気を切っておく。
- ④ しらたきは5cm幅に切り、下ゆでしておく。
- ⑤ 油でとり肉、たまねぎ、にんじんをいためる。
- ⑥ 火が通ったら、水を加え、はくさい、ごぼう、しいたけ、豆腐、ねぎ、しらたき、丁子麩を加えて煮る。
- ⑦ 具材が柔らかくなったら、三温糖、しょうゆ、酒で味付けをして煮る。

川瀬あんずさんが モンゴルへ (12月16日)

青年海外協力隊のボランティアとして2年間派遣されることが決まっている川瀬あんずさんが、12月16日に泉市長を訪問されました。

川瀬さんの派遣先はモンゴルの首都ウランバートルから約135km離れたバガノール地区という人口急増地域。貧困層の居住地域を中心に感染症などが増加の傾向にあるこの地域で、公衆衛生の指導活動などに取り組まれる予定です。



「病院で勤務していた際の知識・経験を活かし、地域の衛生環境を高めたい」と抱負を語る川瀬さんのモンゴルでの活躍を期待したいですね。

嘉田知事と みらいつくり隊員が 意見交換 (12月11日)

県内の先進的な取り組みや特色のある活動を行っている企業や施設などを訪問し、関係者と対話する県の事業「おじゃまします！知事です」が12月11日、甲賀区で開催され、嘉田知事とみらいつくり隊員の意見交換が行われました。

会場となった田仲隊員のお店「no-ho-ho-n」には、地元区長でもある東草野まちづくり懇話会の法雲座長



や、地元で活躍する「摘み取り農園」のみなさんも参加。終始和やかな雰囲気の中で意見交換が行われ、地域活性化と自分の夢の実現に向け、地域の方々と協力しながら活動に取り組む隊員のみなさんに、知事からも温かいエールが送られました。

市長 エッセイ みね日和

昨年の世相を表す漢字に「絆」が選ばれたことは皆さんの記憶に新しいことと思いますが、振り返りますと、昨年の日本は3月の東日本大震災をはじめ大型の台風による大雨被害など各地で多くの災害に見舞われた一年でした。本市でも台風6号の大雨により初めて避難勧告を発令したほか、丹生川が土砂で埋まるなどの被害が発生しました。

一方で、こうした災害時であっても支えあう人々との絆や支援の輪が広がり、「絆」の大切さを改めて気付かされる年でもありました。

私も市長に就任して以来、「絆」が地域防災をはじめ子育てや過疎高齢化対策、地域福祉など、あらゆるまちづくりの基盤となるものと考え、「まいばら親子の絆プロジェクト」や「絆マップ」、「絆バトン」の取り組みのほか、人と地域をつなぐ「水源の里まいばらみらいつくり隊」による地域の活力づくりなど、親子の絆、地域の絆をはじめとする様々な人と人との絆づくりを展開してきました。

今年も「絆」を市政の軸に据え、安心・安全で活力のある「絆で築く元気な米原市づくり」の実現に向け全力でまい進してまいります。

米原市長 泉峰一

(1月4日記)



米原歴史街道

米原市の歴史・文化財を歩く 82

上田 勇助

— まいばらの先人④ —

職人のまち・上丹生

醒ヶ井駅から丹生川をさかのぼり、
靈仙の山ふところに抱かれた上丹生の集落に入ると「木彫の里」「丹生仏壇」などの看板が並んでいます。江戸時代の末期、上丹生は木彫の村として知られるようになりました。明治の中頃にかけて、仏壇の需要が増加すると、製作の技を磨くため、集落内で師匠を求めて修業に励む人が出てきました。湖北は真宗王国で、屋根は昔ながらの草ぶきながら、重厚な仏壇が収まっているのが、湖北民家の風景でした。さらに、戦後の高度経済成長期には、作れば作るほど売れるという時期がありました。が、産業の近代化は、安価な製品を海外に求めるようになり、伝統工芸としての仏壇は引き合わなくなり、後継者問題も抱えるようになりました。

しかし、上丹生の職人たちは、常

に新分野への進出を試みています。靈仙の杉や松を素材とした木彫り工芸品を創作して海外貿易を図り、金不足の戦時中には木製の代用品が考案されました。また、焼き杉の家具や床の間の置物が上丹生で考案・製作されると、たちまち日本各地に焼き杉技法が普及していききました。仏壇の仕事で技を磨いた職人がたくさん住む上丹生では、その技が相乗的に磨かれ、技は仏壇の枠を越えて、社寺の彫刻工芸や各地の曳山などの彫刻に発展し、各地に洗練された先人たちの技の跡が残されています。日野町や大垣市、垂井町の曳山・豊川稲荷本殿・仏光寺派本山山門の彫刻などが、醒井地域の彫り物師の作品として知られています。

一四歳で京に上る

江戸時代の寛政年間（一七八九～一八〇一）、上丹生の上田勇助と川口七右衛門の二人は、京で彫刻を学び、帰郷して上丹生成光寺本堂の欄間の雲龍、氏神神明神社本殿などの彫刻を完成させて、周囲の目を見張らされました。やがて仏壇彫刻にも取り組み、多くの弟子を養成した勇助は、木彫の祖といわれています。勇助の父は、寺社の堂大工をしていた長次郎で、長男長七には家業を継がせ、次男勇助に堂大工の仕事に欠くことができない彫刻の技を身に付けさせようと、一四歳の勇助と同郷の七右衛門を京に送りました。一二年の修行ののち、まず七右衛門が、続いて勇助も帰郷し、上丹生彫刻の礎を築くことになりました。勇助の帰郷は文化一二年（一八一五）のことと伝えられています。山間地で、水田や畑がきわめて狭い上丹生ですが、背後に控える靈仙山地の豊かで良質な木材資源を活かすために、勇助たちは京へ上ったのです。

社寺建築の彫刻部分を荒物といい、仏壇・仏具の彫刻を小物とよびますが、二代目勇助（藤助）は安政四年（一八五七）頃から小物彫刻を本格的に始めたといわれています。上丹生

は長浜の浜仏壇を主に生産し、丹生仏壇の名でも出品されてきました。また、仏壇作りには七職（木地師・木彫師・塗り師・箔師・鋳職・屋根師など）とよばれる各種職人の高度な技が結集されています。各職人が上丹生にそろった明治末期には、一貫した仏壇生産が行われるようになり、仕事場が家ごとに並ぶ現在の集落景観が見られるようになりました。奈良時代、丹生出身の息長丹生真人一族は、奈良の都にいて、東大寺建立の画師集団として寺院の造営などにかかわっていたようです。高度な技術や情報を取り組む気質が、木彫という形で、現代まで脈々と受け継がれているようです。

（歴史・文化財保護室）



▲ 神明神社本殿彫刻

まいばら親子の絆プロジェクト 親子携帯写真展・帰って川柳展

まいばら 親子の絆プロジェクト

みなさんからお寄せいただいた、作品を紹介します。
心暖まる日常の何気ないワンシーン、親や子への様々な思いのこもった言葉であふれています。
※掲載は応募順です。今回掲載できなかった作品も順次紹介していきます。



ほんじょう ほるな
本庄 晴菜さん
爆睡してる親子



みわ めぐみ
三輪 恵美さん
初めての
チューリップ畑



あらか めぐみ
荒木 恵さん
親子の時間



なるかわ ゆきこ
成川 由紀子さん
可愛い天使



いのうえ ひさみ
井上 秀美さん
親子の絆の誕生



きたがわ りょうこ
北川 良子さん
パパとプチ遠足



いまさき あきこ
今崎 阿希子さん
親子の絆



むらい やすのり
村居 保典さん
貴重な二人の時間



こさわ さゆり
小澤 沙友里さん
SL北びわこ号と子鉄たち



六十才 越えても案じる 米寿の母
病院へ『つれてったるか』が うれしいの
元気やでー 電話の声で 血圧下る
柴田 淳子さん

盆休み 孫の顔見せ 足軽く
元気かい 母の一言 心なごむ
土におい 野菜にしみる 古里あじ
箕浦 静子さん

帰ってきい 嫁をつれずに 息子(あなた)だけ
宮川 房夫さん

母親は 吝と儉約 身で示す
母想い 歩幅合はせに 里に行く
伝統は 母に教わり 娘に教え
菅居 久栄さん

孫と子に ホタル見に来い 米原へ
志摩(三重県志摩市)の孫 海より滋賀の
湖が好き
中村 日出夫さん

雨の朝 俺は雨傘 子はクルマ
わが子には 佑樹か遠と 悩む親
こづかいを こども手当で ママのもの
川崎 信義さん

どうしてる? 声がききたい 顔見たい!
深田 幸子さん

人権週間にあわせて、市民のみなさんから募集した人権作品の中から、優秀作品を紹介します。



人権作文 最優秀賞

中学生の部
双葉中学校1年 横井 佑哉さん

「個々の個性」

「人権」と聞くと、何かかた苦しく難しいものと思う人が多いかもしれない。でも、ぼくは野球解説者の金村義明さんの「在日魂」という本を読んで理解できたような気がした。彼は報徳学園のエースで四番。甲子園の優勝投手である。ドラフト一位で近鉄に入団し、中日、西武を経て今はずっとおもしろい野球解説者である。

彼の強さやエネルギーの源は、強烈な個性を持つ母親であり、

ひいては朝鮮人としての誇りだ
という内容だった。

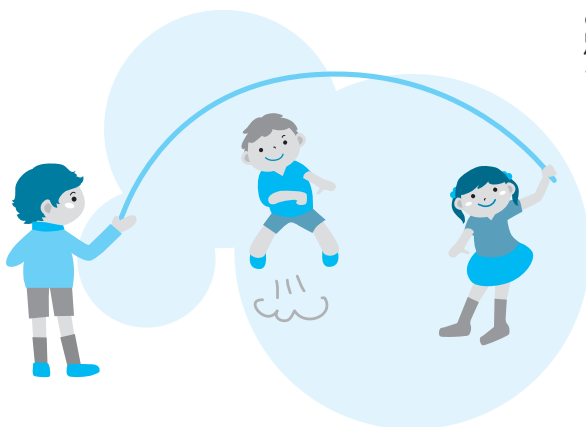
彼は昼間はゴルフのキャディーをし、夜は寝ずに内職をして働いていた働き者の母に育てられた。彼の母は「朝鮮人のくせに……」とか言われてもがんばって耐えてきた。彼が小さい時には「朝鮮人やから絶対負けたらあかんぞ。野球でも勉強でもギリギリの線の所にぶらさがってたらあかんのや。差別があるからだれも追い越せないとこまでいくように、がんばらなあかん。」ということは何度もくり返し言っていたぞうだ。それに「朝鮮人やからと言って引け目を感じんでもええぞ。朝鮮人は根性があるんや。そして人間はみんな一緒なんやぞ。」と誇りを持って生きていくことと、人権の大切さを常に言っていたぞうだ。彼はさまざまな人と出会い、ふれ合って、世界を広げ、まず自分らしさを肯定することから始めていたように思う。だから彼は、小学校のころから自分が在

日であることを「なんで隠さなあかんねん。」と言っていたのだと思う。彼の気っ風の良さなだろう。

ところで、自分の日常はどうだろうか。いろんな所で、「……のくせに。」という言葉をとてよく耳にする。自分の場合はクラスで背が前から二番目と低い。学校では言われたことはないが、サッカーの時に一度「チビのくせに……。」と言われたことがある。言われた時には、とても腹が立ったし「がんばって大きくなって見返してやる。」と思った。「チビのくせに」という言葉はねのけるぐらいがんばって上手になりたいと思ったし、逆に「チビやから……。」という風に都合のいい理由にしたくもないと思った。チビでも、よく考えて工夫して大きな人にせり勝つこともある。だから「……のくせに」と「……やから」という言葉は聞きたくないし使いたくないと思った。

このような日常を通して分か

ったことは、人権とは個々も自分らしさを認め、理解することだと思った。一人一人が個性や能力を生かして「自分らしく生きる」ということ。このところこそ、守られるべき権利なんだと理解することができた。これからも自分の個性を生かして自分らしく生きていきたいと思う。そして世の中がその個性を肯定できるようになればいいと思う。



お問い合わせ
総務部 人権政策課 (米原庁舎)
☎52-6629 ④52-4539

確定申告で「医療費控除」の申告をされるみなさんへ 医療費の領収書は国保の 「高額療養費申請」にも必要です

医療費の支払いが高額になった場合、その額が法で定められた「自己負担限度額（月額）」を超えると、超過分は「高額療養費」として支給されます。高額療養費の手続きには支払った医療費の領収書（原本）が必要です。（後期高齢者医療保険をはじめ加入中の保険によっては不要の場合もあります。）

国保に加入されている方で、平成23年中に支払った医療費の内、ひと月ごとの医療費が高額療養費の該当になるとと思われる方は、確定申告（医療費控除）で領収書を提出される前に、医療費の領収書を持って市役所各庁舎の窓口で高額療養費の申請をしてください。



なお、『自己負担限度額（月額）』は、年齢や世帯の所得状況によって区分されていますので、詳しくは担当までお問い合わせください。

＊窓口で領収書をコピーして、原本をお返しします。

＊国保以外の方は、加入中の健康保険（組合）にお問い合わせください。

問 市 保険課（近江庁舎） ☎ 52-6922 FAX 52-8730

安心・安全なくらしのために 「メール配信サービス」を ご利用ください

市では、市民のみなさんの安全を守り、暮らしに必要な情報を迅速にお伝えするため「メール配信サービス」を行っています。

お伝えする情報は、災害情報や不審者情・イベント情報などで、登録の際にあらかじめ選択された項目の情報を、お手持ちの携帯電話やパソコンにメールで送信します。

防災・防犯

- 災害情報
- 避難勧告
- 不審者情報
- 事件・事故情報
- クマ目撃情報
- その他有害鳥獣

健康づくり

- 健診の日程等のご案内
- 感染症等の注意情報

イベント情報

- スポーツイベント
- 文化イベント
- 福祉イベント

市民生活

- ごみ収集日
- 悪徳商法の注意情報
- 子育て支援情報
- 通行制限等
- 断水のお知らせ
- 公共施設改修

観光案内

- ホタルの情報
- 梅花藻情報
- 伊吹山観光情報



メール配信サービスの登録方法

●バーコードリーダーが使用できる方

携帯電話などで右のQRコードを読み取ってウェブサイトアクセスし、案内にしたがって登録してください。



●その他の方

市公式ウェブサイト右上の検索バーで「メール配信」と入力して検索し、ページの内容をご確認ください。

市公式ウェブサイト

URL <http://www.city.maibara.lg.jp/>

＊利用は無料ですが、登録やメール受信などにかかる通信料・パケット料金は利用者の負担になります。

問 市 広報秘書課（米原庁舎） ☎ 52-6627 FAX 52-5195

長浜税務署からのお知らせ

●所得税・消費税の決算・確定申告説明会

説明会では、青色申告決算書・収支内訳書の作成方法などについても説明します。
 なお、会場では申告書の受付や個別の相談は行いませんので、ご了承ください。

確定申告についての説明会を開催します。また、還付申告の受付を行いますので、ぜひご利用ください。



開催日	時間	会場	内容
1月27日(金)	13時～16時	勤労者福祉会館 「臨湖」 (長浜市港町4-9)	・給与所得や年金所得者等を中心とした確定申告書A様式の記載方法 ・事業所得、不動産所得や農業所得者等を中心とした確定申告書B様式の記載方法 ・消費税等の確定申告書の記載方法

●サラリーマンや年金受給者のための還付申告

確定申告期間前に年金受給者、給与所得者の医療費控除、住宅借入金等特別控除および中途退職についての還付申告会場を開設します。

開催日	時間	会場
2月1日(水)・2日(木)	9時30分～12時 13時～15時30分	米原公民館(米原市下多良3丁目3)
2月3日(金)		山東公民館(米原市長岡3127)
2月7日(火)		長浜市役所高月支所(長浜市高月町渡岸寺160)
2月8日(水)		長浜市役所浅井支所(長浜市内保町2490-1)
2月9日(木)・10日(金)		長浜市民交流センター(長浜市地福寺町4-36)

- * 還付を受けるための申告書は、2月15日(水)以前でも提出することができます。(土日祝日を除く)
- * 各会場では、パソコンを利用した申告書の作成を推進しています。
- * 電話でのお問い合わせは、長浜税務署に電話していただいた後、アナウンスに従い電話機を操作してください。



平成23年分の確定申告から、次の2点が変更になりました。ご確認ください。

変更点1 年金所得者の申告手続の簡素化

公的年金等に係る雑所得を有する方で、公的年金等の収入金額(2か所以上ある場合は、その合計額)が400万円以下、かつ公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が20万円以下の場合は、所得税の確定申告書の提出が不要になりました。

- ▼この要件に該当する場合でも、所得税の還付を受けるための申告書を提出することができます。
- ▼この要件に該当し、所得税の確定申告書の提出を要しない場合であっても、住民税の申告は必要です。

変更点2 扶養控除等の改正

年少扶養親族(扶養親族のうち年齢16歳未満の人)に対する扶養控除が廃止されたほか、年齢16歳以上19歳未満の人に対する扶養控除について、上乘せ部分(25万円)が廃止されました。

平成23年分の所得税から適用される扶養控除

区分		控除額
一般の控除対象扶養親族		380,000円
特定扶養親族		630,000円
老人扶養親族	同居老親等以外	480,000円
	同居老親等	580,000円

また、扶養控除の改正に伴い、居住者の扶養親族または控除対象配偶者が同居の特別障害者である場合の障害者控除の額が改正されました。

平成23年分の所得税から適用される障害者控除

区分	控除額	
	本人	控除対象配偶者または扶養親族
障害者	270,000円	
特別障害者	400,000円	
同居特別障害者	750,000円	

* 障害者控除は、年少扶養親族を有する場合で扶養控除の適用がないときにおいても適用されます。



全国一斉！法務局休日相談所

法務局職員・公証人・司法書士・土地家屋調査士・人権擁護委員が相談担当となって、無料相談所を開設します。この機会にプロに相談してみませんか。

日程▶2月12日(日)

会場と時間・相談予約▼

彦根会場(10時～15時)

ビバシティ彦根

(彦根市竹ヶ鼻町43-1)

彦根支局総務係 ☎0749-22-0291

長浜会場(10時～16時)

長浜市民交流センター

(長浜市地福寺町4-36)

長浜支局総務係 ☎62-0503

相談内容▶不動産登記、会社・法人登記、土地の境界、人権擁護、戸籍、国籍、供託、公証事務(遺言、公証証書等)、東日本大震災の被災に関する事など

※登記に関する登録免許税以外の税金に関する相談には応じられません。

予約方法▶2月10日(金)17時までに、各会場の事務局まで電話でお申し込みください。

その他▶草津会場、甲賀会場でも開設します。詳しくは下記までお問い合わせください。

問 大津地方法務局総務課

☎ 077-522-4671

戦後強制抑留者のみなさんへ

シベリア戦後強制抑留者に対する特別給付金を支給しています。支給を受けるためには、下記の請求受付期間内に手続きが必要です。



対象者等▶旧ソ連邦またはモンゴルの地域における戦後強制抑留者で、平成22年6月16日に日本国籍を有するご存命の方。(特別措置法施行日(平成22年6月16日)以降に亡くなられた方の相続人は請求できますが、施行日前に亡くなられた方のご遺族等は対象になりません)

受付期間▶3月31日(土)

* 期間を過ぎると手続きができませんので、お早めに。

その他▶請求書をお持ちでない方には、担当から郵送します。至急、下記までご連絡ください。電話の受付時間は平日の9時～18時です。

問 平和祈念事業特別基金

事業部 特別給付金認定担当

☎ 0570-059-204 (ナビダイヤル)

03-5860-2748 (IP電話・PHS)

戦傷病者等の妻のみなさんへ

戦傷病者等の妻の方に特別給付金が支給されます。支給を受けるためには、下記の請求受付期間内に手続きが必要です。

対象者等▼

①平成15年4月2日以降に戦傷病者等と婚姻された妻、または同日以降に後重症により第5款症以上の戦傷病者等の妻となられた方の妻であって、平成23年4月1日において戦傷病者等である夫が第5款症以上の増加恩給等をうけられていた方
→額面15万円(軽傷者は半額)
5年償還の国債

②「第18回特別給付金」または「第20回特別給付金」の受給権を取得した妻であって、戦傷病者等である夫が平成15年4月1日から平成18年9月30日までの間に公務傷病以外の原因により死亡された方。

→額面5万円、5年償還の国債

受付期間▶平成26年9月30日

* 期間を過ぎると手続きができませんので、お早めに。ご不明な点は下記まで。

問 市 社会福祉課(山東庁舎)

☎ 55-8102 FAX 55-8130

県 健康福祉政策課

☎ 077-728-3514

FAX 077-528-4850

毎月19日は「食育の日」

ほたるんの食育通信

第15号



食育の基本は家庭にあります。家庭でおいしく楽しい食育に取り組みましょう。



七草粥で胃腸を整えよう

年末年始の不規則な食生活で、胃腸の調子や生活リズムが乱れている人はいませんか？

お正月のごちそうに疲れた胃腸をいたわり、不足しがちなビタミンを補ってくれるのが「七草粥」です。春の七草とは、セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロの7種です。早春にいち早く芽吹くことから邪気を払うといわれ、新年の無病息災を願って食べられるようになりました。

春の七草にはそれぞれに効用があり、セリは目の充血やめまいを予防、ナズナは消化機能を整えます。ゴギョウは咳やたん^{せき}に効き、ハコベラは胃炎や胃弱に効果的、ホトケノザは筋肉の痛み、スズナは胃腸を整え熱を下げます。スズシロも胃腸の働きを助ける効果があります。

一般的に「七草粥」は春の七草を使いますが、もともとは7種類の若菜であり、春の七草以外の野菜でも構いません。冷蔵庫にあるネギ、ホウレンソウ、ミツバなどお好きな野菜を使ってご自分の好きな「七草粥」を楽しんでみてはいかがでしょうか。

問 市 健康づくり課 (山東庁舎) ☎ 55-8105 FAX 55-2406



「事故0」を
滋養の道から
あなたから

米原市内の交通事故 (平成23年12月31日現在) ※カッコ内は前年比

件数 176件 (-18件)、死者 5人 (+2人)、傷者 216人 (-33人)



お知らせ

第7回米原市民スキー大会 参加者募集(参加無料)

日時▶2月18日(土)

受付12時~/競技13時45分~

会場▶奥伊吹スキー場

参加資格▶市内在住・在勤・在学、
または市体育協会加盟団体に所属
されている方

種目▶大回転(スキーの部・スノーボードの部)

申込方法▶申込書に記入のうえ、伊吹山
麓体育館か各公民館、または下記まで
申込締切▶2月10日(金)

その他▼

- ・駐車場とリフト代は参加者負担
- ・大会実施の有無は、2月15日(水)12時に決定

申・問 市体育協会事務局

市スポーツ振興室(ルッチプラザ内)

☎ 55-8020 FAX 55-4556

あふみヴォーカル アンサンブルコンサート

「命・絆・ふるさと」をテーマにしたコンサート。入場無料です。

日時▶2月5日(日)14時~

場所▶近江図書館かたりべホール

曲目▶「いのちの理由」さだまさし
「前へ」佐藤賢太郎 など

問 近江図書館

☎ 52-5246 FAX 52-8177

スポーツでいい汗流そう! 米原市スポーツ少年団 団員募集

市内には、現在7つの競技種目、23のスポーツ少年団(単位団)があります。

平成24年度からの入団を希望される方は、スポーツ振興室・各公民館に設置された申込書でお申し込みください。
種目▶野球・ホッケー・バレーボール・柔道・サッカー・ミニバスケット・剣道

*入団可能な地域、学年が決まっていますので、申込書をご確認ください。
募集締切▶1月27日(金)

申・問 市スポーツ振興室(ルッチプラザ内)

☎ 55-8020 FAX 55-4556

アクティブシニア交流会 男の料理教室第9弾 参加者募集

今回は、魚屋さんから「魚をおいしく焼くコツ」を学びます。

日時▶2月11日(土)13時30分~16時

会場▶ルッチプラザ内「粗!一寸」

定員▶先着20名

(老若男女問いません)

参加費▶1,000円

持ち物▶エプロン・三角巾・
タオル・出刃包丁(あれば)

申込締切▶2月3日(金)

その他▶退職シニアのたまり場「一寸同志」の会員も募集中!

申・問 粗!一寸

☎ 55-7171(月曜休み)

パブリックコメントを募集

介護保険事業計画および高齢者福祉計画で構成される「第5期いきいき高齢者プランまいばら(案)」について、パブリックコメント(市民意見)を募集します。

募集期間▶1月20日(金)~2月20日(月)
案の閲覧場所▶各庁舎・行政サービスセンター・図書館の市政情報プラザ、市公式ウェブサイト

*案の概要については広報まいばら2月1日号でもお知らせします。

問 市高齢福祉課(山東庁舎)

☎ 55-8103 FAX 55-8130

県政モニターを募集

アンケート調査への回答や県政に関する意見や提案の提出などにご協力いただける「県政モニター」を募集しています。

活動期間▶4月から25年3月31日まで
応募資格▶県内在住の18歳以上の方で、インターネットを通じてサイトの閲覧やアンケートへの回答ができる方(携帯電話端末を除く)。

募集人数▶400人

*応募多数の場合は抽選

応募締切▶2月15日(水)17時

応募方法▶滋賀県ホームページ「しがネット受付サービス」からお申し込みください。

問 県広報課 県民の声担当

☎ 077-528-3046



今月の表紙

角松で新しい門出を!



おもてなし講座が12月25日、伊吹葉草の里文化センターで開催されました。

当日は雪が降り積もる状況でしたが、今回の手作り門松を作る講座には約30人が参加。

講師の先生から飾りつけの方法などを学び、「100歳になる祖母のために」と工夫を凝らすなど、それぞれの思いを飾りつけに反映していました。

エコスタイル

一人が変われば、世界も変わる!!

電気を消して、静かな夜を・・・ — 1月20日(金)は県下一斉ライトダウン —

1月20日(金)は、県下で一斉ライトダウンの取り組みが行われます。オフィスや家庭の照明はなるべく19時で消灯して、電気の無駄遣いを無くしたライフスタイルについて、今一度一人ひとりの行動を振り返ってみましょう。

また、この日だけはテレビや照明は消して、キャンドルの灯りなどで過ごし、普段とは違ったゆっくりとした時間の流れを味わってみてはいかがでしょうかでしょう。

*キャンドルなどを使用される場合は、火の取り扱いには十分ご注意ください!



人口40,962人(-36) 男20,100人(-2) 女20,862人(-34) 世帯数13,724世帯(-11)

人のうごき

65歳以上の人口 10,171人 高齢化率 24.83% ※ () 内は前月との比較【平成24年1月1日現在】

困ったときは
米原市消費生活相談窓口へ
(米原庁舎1階)
相談専用 ☎52-8088
受付 平日 9時30分～16時

海外から届く「当選金獲得」には手を出さないで

相談

海外から「当選金獲得」というような手紙が届いた。最終確認通知などいろいろ書いてあり内容はよくわからないが、何かが当たっているようである。2週間以内に返送しないと権利を失うとあるが、問い合わせ先の電話番号などはなく、返信用封筒が同封され、郵便為替を添えて返送するかクレジットカード番号を記入して返送するようになっている。どうしたらよいか。



解説

いわゆる「海外宝くじ」というもので、オーストラリアやカナダ、中国などから、エメールが送られてくるものです。当選金を受けとる資格があり、その確認のために手数料を支払うように書いていますが、賞金が当たったとは書いてありません。何か当たるのではないかと心理につけ込んで、手数料を支払わせる悪質なものです。



一度返送すると、同様の手紙が大量に届いたり、何度手数料を支払っても当選金は手に入らず気がつくとも額の費用をつぎ込んでしまったということになります。

自分で応募したものでもないのに当たるはずがありません。また海外の宝くじは日本国内で買うだけでも違法です。絶対に手を出さないようにしましょう。

2012.1/15

編集発行

米原市役所

広報秘書課

〒521-8501
滋賀県米原市下多良三丁目3番地
☎0749(52)6627

☎0749(52)5195



発行日

〒521-8501
http://www.city.maibara.lg.jp/

きみと本は ずっと なかよし

1月21日(土)

入場無料
申込不要

平成23年度 米原市学校支援地域本部事業成果報告会

日時 **1月21日(土)**
時間 **10時30分～12時10分**
場所 **近江図書館 かたりペホール**

☎ 山東図書館 ☎ 55-4554
近江図書館 ☎ 52-5246

発表 わたしの好きなこの1冊

お気に入りの絵本や児童書の好きなセリフ、好きな場面、本との出会いなどを発表してもらいます。読んでみたくなることまちがいないし!

実演 楽しいおはなし

市内で活躍しているボランティアのみなさんによる実演。絵本の読み聞かせだけじゃないおはなしのスタイルを体験できます。

報告 学校と図書館での取り組み

「米原市学校支援地域本部事業」の活動内容や成果を、地域コーディネーターとモデル校の図書主任が報告します。

講評 「本との出会い」

長浜市の宮腰悦子先生(すすめの学校代表)に、米原市の取り組みへの講評や先生の本に対する熱い思いを話していただきます。

プレゼント! ご来場の方に

当日に発表されなかったものも含め、「わたしの好きなこの1冊」を冊子にして、プレゼント! 身近な人たちのコメント付のブックガイドです。

みんなで
本を読もう!

